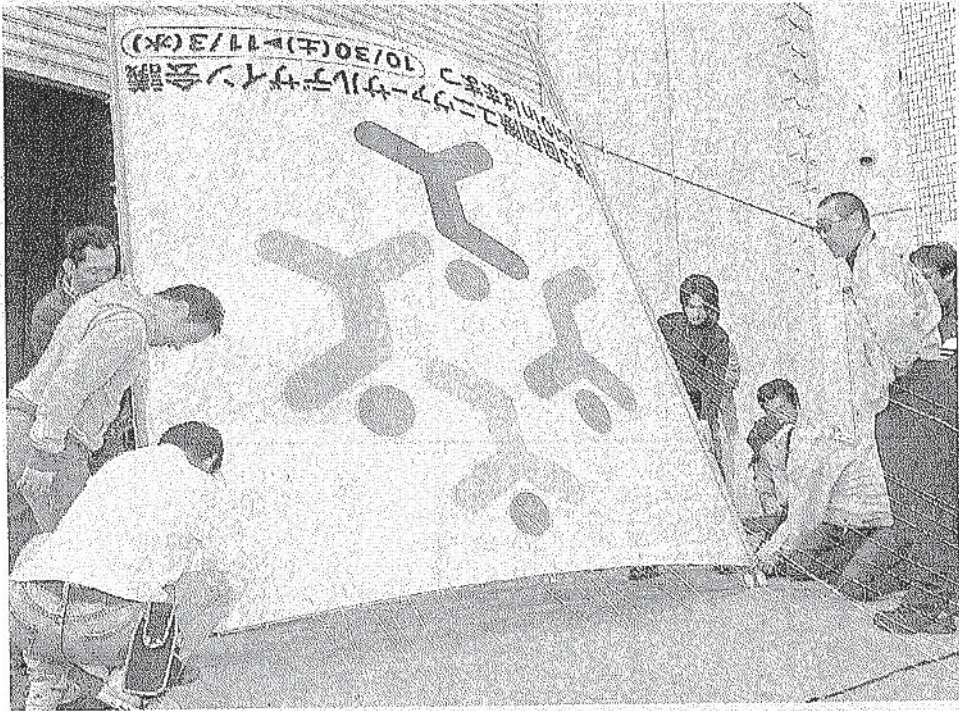


浜松市で行われる「国際ユニヴァーサルデザイン会議2010」の記念凧に糸目付けをする参加者たち—浜松市南区の浜松まつり会館



市章凧と「国際ユニヴァーサルデザイン」記念凧

慎重に糸目付け

H22.4.25 静岡新聞

3日 景気回復願い大空へ

5月3日に開幕する浜松まつりを前に、浜松市の市章凧(たこ)と10月の「国際ユニヴァーサルデザイン会議2010」開催を祝う記念凧2枚が完成。糸目付けが24日、同市南区中田島町の浜松まつり会館で行われた。

凧の大きさはいずれも6畳約2・9(四方)。記念凧は同会議のロゴマークをあしらっている。作業には、まつり本部凧揚部員や市職員など50人ほどが参加。真剣な顔つきで糸を束ねながら慎重に糸目を付けていった。

「停滞する景気が良くなり初日、174町の大なるよう、この凧を空高く揚げたい」と糸目付けの指導を行った溝口直樹凧揚部長。2枚の凧はま



空高く揚がる国際ユニバーサルデザイン会議のPR風。浜松市南区の風揚げ会場



国際UD会議PR

やらまいか大使
秋山さんも来日

○…浜松市は10月末から開かれる「国際ユニバーサルデザイン会議」をPRする風を制作し、市の部長らが力強く糸を引

いた。国際ユニバーサルデザイン協議会の成川匡文理事長らも風揚げに参加した。

浜松まつり初参加の成川理事長は「迫力満点。この興奮や感動を市外の人にも知ってほしい」と話し、風が空に舞うと笑顔で練りの輪に入った。まつりの開催に合わせ、市のやらまいか大使を務める米ロチェスター大名誉教授の秋山俊雄さ



鈴木市長(右)と風揚げを見守る秋山さん夫妻。浜松市南区の風揚げ会場

……
「妻の明子さんも来日した。同市とロチェスター市の姉妹都市協定締結に尽力した秋山さんが会場を訪れるのは12年ぶり。規模も大きくなり、市民の熱気もすごい」と感心しながら記念風を見上げた。